



ScholarOne Manuscripts リリースノート

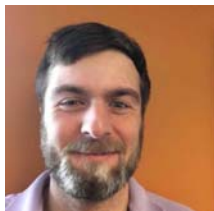
発行リリース v4.23

ScholarOne Manuscripts

リリース 4.23 – 発行日:2018 年 4 月



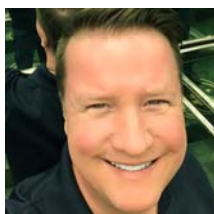
著者



Chris Heid

Product Lead, Publishing & Associations (製品リード、公開および関連事項)

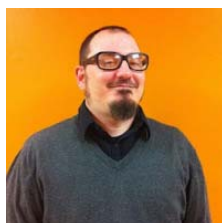
Chris は、Clarivate Analytics の ScholarOne プラットフォームに関する製品管理を担当しています。これまでのプロジェクトには、査読者検索、発行者レベルのレポートおよび ORCID 統合などが含まれます。



Greg Kloiber

Sr. User Experience Designer, ScholarOne (シニアユーザー エクスペリエンスデザイナー、ScholarOne)

Greg は、ScholarOne Manuscripts および Abstracts の両方のプラットフォームで設計変更の一部を手がけました。最近では、Review Center for ScholarOne Manuscripts の改良を担当しています。



Sven Molter

Product Manager, ScholarOne (ScholarOne プロダクトマネージャー)

Sven は、業界で 12 年間の経験を有し、2009 年以來 ScholarOne に携わっています。Client Implementation Manager (クライアントインプリメンテーションマネージャー) から始まり、ScholarOne Abstracts プラットフォームを使用するクライアントを支援してきました。Sven は、その後プロダクトマネジメントチームに加わり、ScholarOne のティア 2 カスタマーケアチームを管理しています。ScholarOne 以前には、Executive Director Incorporated で、学会、メンバーシップおよび教育 (行動医学会) のシニアマネージャーとして、年次学会の企画プロセスを統括しました。

以下は、ScholarOne Manuscripts の v4.23 でリリースを予定している機能です。本書は、それぞれの機能について、デフォルトの設定値および設定に必要な時間に関する情報を記載しています。ご不明な点は、Chris Heid (434.964.4040) までお問い合わせください。

このリリースには、すべての ScholarOne Manuscripts ユーザーが直接影響を受ける機能強化や変更が含まれています。リリース前にユーザーに連絡し、影響を受ける可能性のある変更に備えられるようにしてください。その他の機能についてユーザーが新機能の恩恵を受けるためには、管理者や ScholarOne の担当者が機能を有効にする必要があります。

リリースの概略

このリリースの各機能のデフォルトの設定および値を以下に示します。

いずれかのデフォルトを変更するには、ScholarOne Manuscripts サイトの [ヘルプ] リンクからケースを送信し、ScholarOne にご連絡ください。

機能	概略
GDPR 対応のアカウントレベルでの変更点	<p>v.4.23 release ScholarOne Manuscripts では、ScholarOne とそのクライアントが 2018 年 5 月下旬に発効する GDPR (General Data Protection Regulation: 一般データ保護規則) に準拠できるように、ユーザーアカウントの動作と機能に多数の変更が実施されます。</p>
異常アクティビティ検出ツールの強化	<p>テストパイロットのフィードバックにより、以下の改良点が導入されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 近接アラートの距離を 50% 縮小 • すべてのアラートトリガーに新しい変更可能な感度設定 • 管理ダッシュボードでクリアされたレポートに新しい待ちリスト • 許可権限を持つユーザーは、黄色および赤色アラートの論文を、論文の採否決定の後だけでなくいつでもクリアできます。(ユーザーによる変更が可能) • 許可権限を持つユーザーは、クリア済みのレポートを表示できます • 黄色アラートの黄色の明度改善 <p>必要なアクション: この無料の機能は、設定により利用できます。</p>
説明および E-Mail テンプレートのリッチテキストエディタ (パイロット)	<p>新しいリッチテキストエディタを使用すると、HTML タグを使用しなくても簡単にコピーをフォーマットできます</p> <ul style="list-style-type: none"> • ログイン、ホーム、著者ダッシュボードおよび査読ダッシュボードに、ページ説明のリッチテキストエディタが追加されます • E-Mail テンプレートにリッチテキストエディタが追加されます (パイロット) <p>必要なアクション: ページ説明エディタは、設定により利用できます。E-Mail テンプレートエディタは、すべての E-Mail クライアントで正しくフォーマットされるように、リリース後にパイロットテストされます。</p>

非同期ファイル変換

ScholarOne の Amazon Web Services への移行の一環として、著者が投稿の残りの部分について作業を素早く続行できるように、非同期でファイルを変換できるようにします。

- 著者は、ファイルをアップロードした後、ファイルアップロードページから移動できるようになります。プルーフへの変換はバックグラウンドで実行されます。
- ファイルアップロードは、デフォルトでは、ステップ 1 および保管場所作成の後に表示されるようになります
- プルーフの査読は、最終ステップ「査読と投稿」でのみになります

必要なアクション: なし

Clarivate Analytics のブランド名変更、第 2 段階

ScholarOne は、Clarivate Analytics の学術研究 (Scientific and Academic Research: SAR) 部門の一部となり、そのブランドカラーパレットで展開されます。

- Thomson Reuters のオレンジ色は、サイト全体のナビゲーションおよびボタン要素で、Clarivate Analytics の学術研究 (SAR) 部門を表す青色に変更されます。

必要なアクション: なし

システム E-Mail の変更

ScholarOne Manuscripts の v4.23 では、E-Mail 処理にいくつかの大きな変更が盛り込まれます。新しい機能は、システム内の E-Mail および E-Mail アドレスの状態をより明確に把握できるようにします。これらの変更は、ScholarOne の E-Mail ドメインのレピュテーションをさらに拡大し、すべてのユーザーで配信可能性を改善します。

必要なアクション: なし

カスタム質問の文字数制限

ScholarOne Manuscripts は、フリーテキストによる応答が必要なカスタム質問への回答で設定可能な文字数制限をサポートします。

必要なアクション: なし

カスタムアカウントバッジ

v4.23 リリースには、カスタムアカウントバッジを作成し、このようなバッジをユーザーアカウントにタグ付けする機能が含まれます。

必要なアクション: なし

GDPR に関連するアカウントレベルの変更

EU 加盟諸国で採択された一般データ保護規則（GDPR）は、データのプライバシー権を強化し、個人情報の収集と使用で各ユーザーに管理を委ねます。GDPR は、2018 年 5 月 25 日に施行されます。その準備として、ScholarOne Manuscripts は v4.23 で多数の新しいシステム機能をリリースし、このような重要な規制に対処します。これらのアカウントレベルのシステムアップデートについて、以下に説明します。

プライバシーポリシーへの同意の必要性

GDPR では、個人情報を収集、処理および/または保存する場合に、組織が各人から肯定的同意を得ることを規定しています。肯定的同意には、個人データの示唆された使用にユーザーが明確に同意を示す必要があります。システムの使用や事前に確認済みの同意への質問で合意を得たと想定することは、GDPR 標準には適合しません。

v4.23 以降の ScholarOne Manuscripts では、アカウントを作成するときにシステムユーザーの肯定的同意が必須となります。既存のアカウントを持つユーザー（第三者が作成したアカウントのユーザーを含む）は、このリリース以降、最初にログインするときにこのような同意が求められます。この同意は、アカウント作成/編集プロセスの最後のステップで収集されます。

プライバシー。

プライバシーポリシー

[Clarivate/ScholarOne プライバシーポリシー](#) 

必須 **はい、リンク先のプライバシーポリシーを読み、内容を確認しました。**

いいえ、アカウントを削除します*

* 現在、アカウントを自動的に削除できません。 qa-mc@manuscriptcentral.com の雑誌にお問い合わせください。論文から割り当てを解除し、ロールを期限切れにするなどが必要になります。

 前へ 完了 キャンセル

ユーザーは、リンク先の一連のプライバシーポリシーを確認し、チェックボックスをクリックして、同意するように求められます。この場合に、GDPR では、「データ管理者」としての発行者と、「データプロセッサ」としての ScholarOne の要件を明記しています。このようなリンクは 2 つの異なるポリシーに提供されます。1 つは発行者のプライバシーポリシー、もう 1 つは最新版の標準 ScholarOne プライバシーポリシーです。発行者のリンクテキストとプライバシーポリシーの URL アドレスは、構成センターの「ログイン前」と「全体構成」で設定します。必要な

場合、ScholarOne Manuscripts は、学会が所有するタイトルへの第三者プライバシーポリシーリンクをサポートできません。

プライバシーポリシー	
<input checked="" type="checkbox"/> プライバシーの認知の収集	
プライバシーポリシーのリンクテキスト	<input type="text"/>
プライバシーポリシー URL	http:// <input type="text"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 保存	


備考： v4.23 はリリース時にプライバシーに関する認知の機能が無効になっています。リリース日から5月25日のGDPR発効日までの間、ScholarOneは雑誌や出版社と協力し、関連するポリシーを準備して構成します。ScholarOneおよびScholarOneのクライアントが確実にGDPRに準拠するよう、5月25日までにすべてのサイトでこの機能が有効になる予定です。有効化になる正確な日付については近日中にお知らせします。

アカウントの削除

GDPRでは、ユーザーがScholarOne Manuscriptsからそのアカウントをいつでも削除できることを規定しています。これをサポートする機能が、v4.23のアカウント編集機能に追加されます。著者および/または査読者ロールしか持たないユーザーは、前述の肯定的同意プロセスの中で、自主的にアカウントを削除するオプションが提供されます。

Privacy Acknowledgement

To ensure you are properly informed of your privacy rights while using this website, we ask that you review and acknowledge the relevant privacy policies linked below.

[Example Publisher - Privacy Policy](#) 

[ScholarOne Privacy Policy](#) 

req **Yes, I have read and now acknowledge the linked privacy policies.**

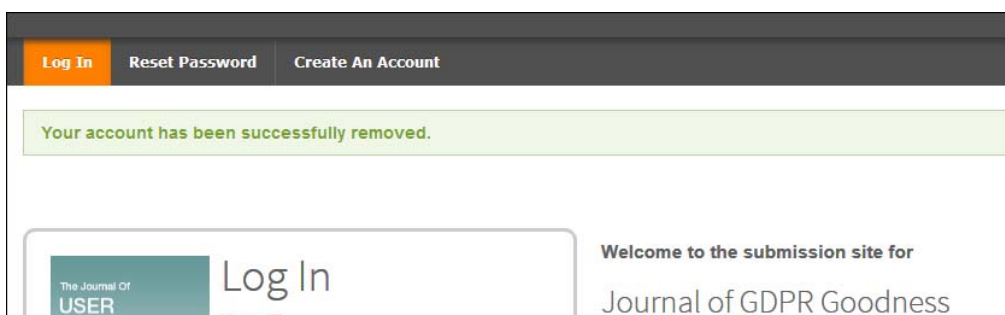
[No, remove my account](#)

If you remove your account, your name will remain on submitted articles and reviews but personal information will not appear on this site and you will no longer have site access

進行中の査読や、アクティブな論文で対応する著者指定などのアクティブな割り当てを持つユーザーは、自主的にアカウントを削除することはできません。このようなユーザーは、雑誌に連絡することが求められます。同様に、編集者などの高レベルのロールを持つユーザーも、雑誌に連絡する必要があります。

ユーザーが正しくアカウントを削除すると、ログアウトし、雑誌のログイン画面に戻り、「アカウントが正しく削除されました」というメッセージが表示されます。また、アカウントの削除を確認するシステム E-Mail も送信されます。この E-Mail のテンプレートは「ユーザー依頼によるアカウント削除」と呼ばれ、[システム E-Mail] から利用できます。

ユーザーがそのアカウントの削除を選択した後、第三者が同じユーザーに新しいアカウントを作成することはできません。このユーザーの E-Mail アドレスを使用して、管理アカウント作成またはオンザフライの査読者から新しいアカウントを作成しようとしてもブロックされます。



査読選択拒否

ユーザーのプライバシーオプションを強化するため、ScholarOne のアカウント保有者が査読者選択を拒否する設定可能な機能が含まれます。ピアレビューの依頼を拒否したユーザーは、査読者検索および査読者検索結果に表示されますが、選択することはできません。

査読者検索に表示を希望しますか?
<input checked="" type="checkbox"/> このボックスを選択すると、ユーザーのアカウントはピアレビューの依頼が許可されます。

設定されている場合、ユーザーの査読拒否オプションは、アカウント作成/編集の最後のステップに表示されます。

異常アクティビティ検出ツールの強化

異常アクティビティ検出ツールは、多数の雑誌でパイロットテストされ、優れた結果が得られています。非常に多くのフィードバックを集めることができました。近接アラートの距離を 50% 縮小する他にも、以下のような拡張機能が盛り込まれます。

感度設定とレポートクリア設定

クライアント構成センターを表示する権限を持つユーザーは、構成ダッシュボード > このサイトの設定 > 論文詳細にある「異常アクティビティスコア」と呼ばれる領域内で、異常アクティビティ検出の感度スコアを変更できます。

このセクションの上には、論文の採否決定の直後だけでなく、レポートをいつでもクリアできるチェックボックスも表示されます。チェックボックスを選択すると、許可権限を持つユーザーは、論文のアラートを論文の採否決定の後だけでなくいつでもクリアできます。

レポートのクリア					
<input checked="" type="checkbox"/> レポートのクリアをいつでも許可します。					
異常なアクティビティスコア					
			感度		
パラメーター	オフ		低	中	高
投稿および査読の共有デバイス	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
投稿および査読の共有ネットワーク	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
査読および査読の共有デバイス	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

以前のレポート

アラートは、クリアした後でも、新たな疑わしいイベントで再びトリガーさせたら黄色または赤色に戻ります。クリアした後、黄色または赤色に戻した記事のレポートを表示する場合、[以前のレポート] セクションで以前のレポートを表示することができます。

査読所要時間が異常に短い [編集](#)

1. [redacted] (0 日 0 時間)
2. [redacted] (0 日 0 時間)
3. [redacted] (0 日 0 時間)

以前のレポート

レポート日: 05:39 15 4 2018	<input type="button" value="レポートを表示"/>
レポート日: 05:54 11 4 2018	<input type="button" value="レポートを表示"/>

クリア済みレポートの待ちリスト

過去 2 年間にクリアしたレポートが、新しい待ちリストに表示されます。

異常なアクティビティ

- 1 [異常なアクティビティがある論文](#)
- 1 [クリアされたレポート \(過去 2 年間\)](#)

論文 ID		論文タイトル	投稿日	ステータス	作業を行う
論文種別	著者(投稿者)				
クリア済み	【論文を見る】	2018-4-11	副編集者: [名前] 編集長: [名前] 管理者: [名前]		選択...
元の記事	(代理操作)		<ul style="list-style-type: none"> • 副編集者の割り当て (期限 2018-5-11) • 査読者の選択 (期限 2018-4-21) 依頼人数 1; 依頼済み人数 1; 承認済み人数 1; 辞退済み人数 0; 査読提出数 1 		

黄色のアラートボックスの明度上昇

黄色の異常アクティビティアラートボックスは、より明るく表示されるため、見逃し難しくなっています。



E-Mail テンプレートおよび説明の HTML フォーマット (パイロット)

ログイン、ホーム、著者ダッシュボードおよび査読ダッシュボードの各ページで、ページレベルの説明をテキスト化するために HTML に熟知している必要はなくなりました。また、E-Mail テンプレートでリッチテキストエディタツールのパイロットテストも実施中です。すべての E-Mail クライアントで E-Mail が正しくフォーマットされるように、この機能はリリース後もテストします。今後のリリースではすべてのクライアントに提供する予定です。

備考: 編集者は、ボタンによってのみフォーマットを許可します。手動で入力した HTML タグは、保存時にプレインテキストとして処理されます。

リッチテキストエディタによるページ説明の編集

ログイン、ホーム、著者ダッシュボードおよび査読ダッシュボードページでは、設定時にオープンテキストフィールドではなく、リッチテキストエディタが使用できます。要件を満たすことが実証され次第、今後のリリースでは、この機能を、投稿ステップなどのサイトの他のセクションにも拡張します。

テキストをフォーマットするには、Microsoft Word などのプログラムと同じように、エディタのボタンを使用するだけです。HTML の経験は必要ありません。現在のテキストを変更しないで済むように、従来利用可能であった HTML タグに対応するこれらのボタンが提供されています。

新しい画像ボタンを使用すると、画像を追加できます。これには、画像のサイズを変更したり、視覚障害者向けに代替テキスト (ALT) を追加する機能が含まれます。今後 ScholarOne で説明を編集しなくても変更できるように、独自の画像を使用することをお勧めします。ただし、新しいエディタの下にある [ファイルのアップロードとリンク] セクションを使用すると、従来と同じようにファイルをアップロードすることができます。

YouTube 動画の追加がさらに簡単になります。YouTube アイコンボタンをクリックして、フィールドに YouTube 共有リンクを挿入するだけです。保存をクリックすると、動画が表示されます。



リッチテキストエディタによる E-Mail の編集

E-Mail のリッチテキストエディタは、説明エディタとよく似ており、従来の HTML 機能をすべて含む、使いやすいエディタです。新しい E-Mail タグボタンは、これまでと同じ E-Mail タグのポップアップウィンドウを開きます。

この機能は、すべての E-Mail クライアントで正しくフォーマットされるように、リリース後にパイロットテストされます。

The screenshot displays the 'E-Mail の編集' (Edit E-Mail) window. At the top, the '名前' (Name) field contains 'Hyperlink E-Mail (From Within Mss Details)'. Below this are fields for 'From: ##ユーザー_EMAIL##', 'To: ##人_EMAIL##', 'Cc:', 'Bcc:', and '件名: ##雑誌_名##'. The main body is a rich text editor with a toolbar containing icons for bold, italic, underline, strikethrough, text color, background color, bulleted list, numbered list, link, unlink, and insert link. The text area contains the following content: '##現在の_日付##', '##文書_ID## - ##文書_タイトル##', and 'Dear ##人_敬称## ##人_姓##:'. Below the editor is a 'body' label. At the bottom, there are sections for adding files to the template and a list of attached files. The '添付ファイル' (Attachments) section is currently empty, showing 'ファイル名' and '削除' columns. At the very bottom, there are three checked checkboxes: '保存してプレビュー' (Save and Preview), '保存して閉じる' (Save and Close), and 'ウィンドウを閉じる' (Close Window).

[必要なアクション] 4.24 で登場する投稿ステップでの従来説明の削除

著者センターの従来説明は、4.24 リリースでは削除されます。

- 4.19 リリースで 2016 年 6 月に導入
- 移行期間は、2018 年後半の 4.24 リリースで終了します。
- 査読センターの従来説明は、今後のリリース（後で追加）まではそのまま残ります。



[必要なアクション]:2018 年後半に著者センターから従来説明が削除されるため、雑誌はコンテキスト説明フォーマットにアップデートされます。これは、HTML 編集が設定されていない場合も含め、すべてのサイトに適用されます。

非同期ファイル変換

ScholarOne の Amazon Web Services への移行の一環として、ファイルをアップロードしながら、著者が投稿の残りの部分について作業を続行できるように、非同期でファイルを変換できるようにします。これにより、著者は、素早く投稿を完了できるようになります。

ファイルアップロードはステップ 2

デフォルトのステップ設定と保存場所作成で、ファイルアップロードのステップがステップ 2 に移動します。これにより、著者が投稿の残りの部分を入力している間に、バックグラウンドでファイルをアップロードできます。査読および投稿ステップに進むまでに、ファイルがアップロードされます。

[プルーフの表示] セクションは査読および投稿の最終ステップのみ

プルーフの変換と表示には時間が掛かるため、ファイルアップロードステップから削除し、査読および投稿ステップでのみ表示されます。万が一ファイル変換が不完全な場合、査読および投稿ステップには通知が表示され、変換が完了するまで投稿は許可されません。

[HTML プルーフの表示](#)[PDF プルーフの表示](#)[MedLine プルーフの表示](#)[最終原稿用プルーフの表示](#)

Clarivate Analytics のブランド名変更、第 2 段階

ScholarOne は、独自のブランドカラーパレットを持つ Clarivate の学術研究（SAR）部門の一部です。このため、Thomson Reuters のオレンジ色を使ったナビゲーションおよびボタン要素は、サイト全体を通して、Clarivate SAR 部門の青色に置き換えられます。

Clarivate Analytic の学術研究部門（SAR）は青色

Thomson Reuters では、サイト全体で見慣れたオレンジ色を使用してきました。ScholarOne が Clarivate Analytics に買収されたため、このオレンジ色は Clarivate の学術研究（SAR）部門の青色に置き換えられます。



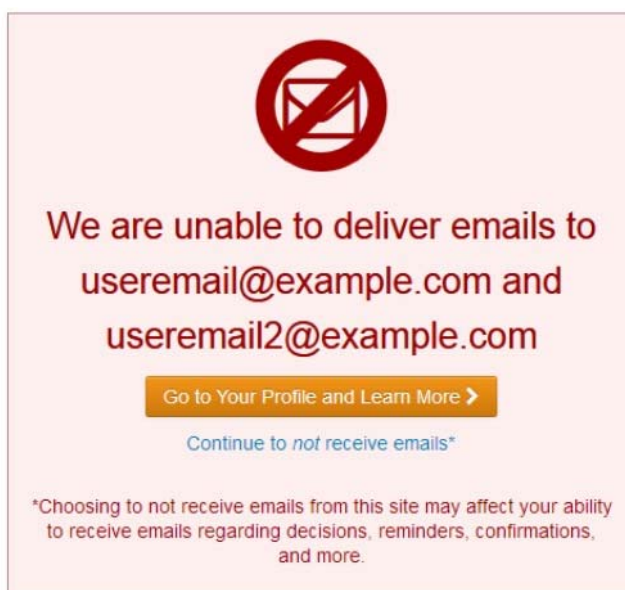
保存して進む >

ScholarOne Manuscripts のシステム E-Mail の変更

E-Mail レピュテーション

E-Mail の送信者として健全なレピュテーションを維持するため、ScholarOne では、v4.23 リリースで新しい E-Mail プロセスを実装します。このレピュテーションは配信率に影響を及ぼすため、技術体系内で、すべての組織が健全な E-Mail レピュテーションを維持することが重要です。レピュテーションが健全でないと、システムから出力された E-Mail が、E-Mail クライアントでスパムと判断される可能性が大きくなります。Amazon Web Service により、これらの機能は、ScholarOne 内の E-Mail アドレスが正確かつ最新であることを保証し、これらの E-Mail の受信を希望するエンドユーザーを確認します。E-Mail アドレスが無効であると E-Mail レピュテーションに悪影響を及ぼすため、返送された E-Mail はブロックされます。同様に、ユーザーが E-Mail をスパム/ジャンクにマークすると、E-Mail レピュテーションの悪化を招きます。ユーザーがその E-Mail クライアントで E-Mail をスパムにマークした場合、その E-Mail アドレスでユーザーへの E-Mail 送信は停止します。

E-Mail アドレスがシステムで無効（返送）とフラグ設定された場合、またはユーザーからスパムであると判断された場合、以下のアラートが表示され、ユーザーのプロファイルを開きます。



プロフィールページにリンクされた後、ユーザーには情報アラートが表示され、以下のような FAQ（よくある質問）が提供されます。

We are unable to deliver emails to useremail@example.com and anotheremail@example.com

You or your email provider has marked the emails from **manuscriptcentral.com** as "Spam" or "Junk". You can:

- Update or change your email address below.
- OR, in your email program, unmark the manuscriptcentral.com emails as spam ([FAQ](#)) then use the Restart Email link below.
- OR continue to not receive emails from manuscriptcentral.com. Choosing to not receive emails from this site may affect your ability to receive emails regarding decisions, reminders, confirmations, and more.


前述のアラートは、2つの条件下でトリガーされます。

- E-Mail 返送:** 配信できなかった E-Mail。返送が生じるのは E-Mail アドレスが存在しない場合が大半ですが（アドレスの期限切れまたは入力ミス）、複数の E-Mail を送信しようとしているときにユーザーの受信箱一杯になっている場合にも生じます。E-Mail アドレスから返送された場合、ScholarOne では、少なくとも 14 日はこのアドレスに別の E-Mail を送信しません。14 日後に、ユーザーは、ScholarOne アカウントにログインし、E-Mail アドレスを確認して、E-Mail の受信を再開できます。

重要事項: ユーザーが E-Mail アドレスを変更すると、この問題を直ちに解決できます。

Primary E-Mail Address:	<input type="text" value="jane.doe@example.com"/>	req	Verify after 29 MAY
-------------------------	---------------------------------------------------	-----	-------------------------------------

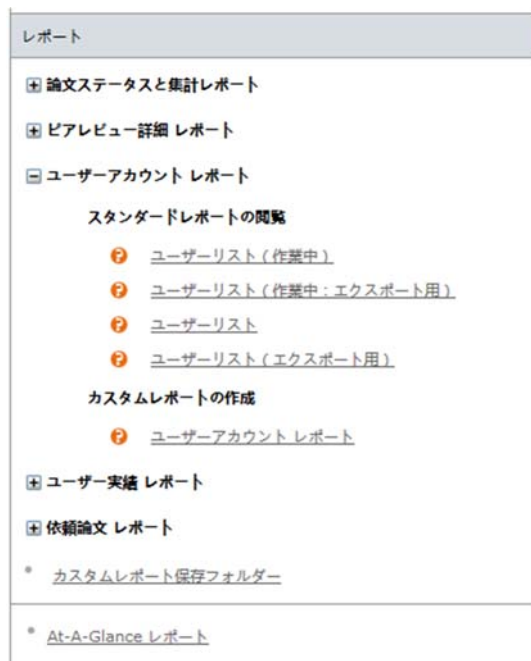
- E-Mail の苦情:** 受信者またはその E-Mail クライアントがメッセージをスパムとしてマークした場合。ScholarOne からの E-Mail に苦情が記録された場合、ユーザーが ScholarOne アカウントにログインし、新しい E-Mail 再開リンクをクリックして、E-Mail の受信を希望することを確認するまで、ScholarOne では別の E-Mail を送信しません。苦情のあった E-Mail の保留は、14 日間の停止が継続されません。ユーザーは、いつでもそのアドレスへの E-Mail を再開できますが、E-Mail クライアントで E-Mail のスパムをマーク解除する必要があります。

Name		 Special Characters	
Prefix:	<input type="text" value="Mrs."/>	req	
First (Given) Name:	<input type="text" value="Jane"/>	req	
Middle Name:	<input type="text"/>		
Last (Family) Name:	<input type="text" value="Doe"/>	req	
Suffix:	<input type="text"/>		
Initials:	<input type="text"/>	req	
Degree:	<input type="text"/>		
Primary E-Mail Address:	<input type="text" value="Jane.Doe@example.com"/>	req	Restart Email
Primary E-Mail Address (again):	<input type="text"/>	req	
Primary Cc E-Mail Address:	<input type="text" value="Jane.Doe2@example.com"/>		Restart Email
Secondary E-Mail Address:	<input type="text" value="DoeSiDoe@example.com"/>		Restart Email
Secondary E-Mail Address (again):	<input type="text"/>		
Secondary Cc E-Mail Address:	<input type="text" value="DoeSiDoe2@example.com"/>		Restart Email

返送および苦情 E-Mail のブロックはいずれも、悪影響のある E-Mail アドレスのみを対象としています。ユーザーの別の E-Mail アドレスや他のアカウント機能には制約は課されません。E-Mail アドレスの誤りからブロックが生じた場合、ユーザーは、正しい連絡先情報でアカウントを更新することで、この問題を直ちに解決できます。

レポート

無効の E-Mail またはスパムの苦情を特定しやすいように、ScholarOne では、ユーザーアカウントレポート > エクスポートの全ユーザー情報にある標準 Cognos レポートを提供します。このレポートにより、雑誌および発行者は、E-Mail 連絡先情報に新たな透過性（トランスペアレンシー）を得ることができ、品質評価や改善オプションが容易になります。



レポートには、以下のフィールドが含まれます。

- ブロックされた E-Mail アドレス
- 名
- 姓
- 人の ID
- ブロックのタイプ <E-Mail 返送、苦情>
- 追加説明 <AWS エラーメッセージ>
- 残りのブロック日数

必要なアクション:
なし

カスタム質問の文字数制限

ScholarOne Manuscripts の v4.23 リリースでは、フリーテキスト応答のカスタム質問中で文字数制限のサポートが追加されます。カスタム質問の回答タイプ「テキスト領域」および「テキスト」で、ユーザーは、カスタム質問設定の一部として設定可能な文字数制限を追加できます。この機能は、雑誌が特定の文字数長に制限されたテキストベースの回答を収集する必要がある場合に、あらゆるユーザー事例を満たすことができます。このような例には、投稿中に Twitter の苦情メッセージを要求する場合があります。

Twitter Message

Would you like to provide a Twitter message which could be used to promote this article in the event it is accepted and published?

3 文字/10 文字中

This groundbreaking article is the result of five years of research. |

設定した文字数制限に達すると、文字数カウンターが赤色で表示され、ユーザーはそれ以上の文字を入力できなくなります。

Twitter Message

Would you like to provide a Twitter message which could be used to promote this article in the event it is accepted and published?

10 DE 10 CARACTERES

This groundbreaking article is the result of five years of research. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Sed accumsan vitae felis a rutrum. Donec cursus lacinia viverra. Maecenas a sapien sollicitudin, accumsan dui in, cursus libero. Phasellus congue fermentu

文字数制限を追加した場合に、既存のカスタム質問で回答がこの制限よりも長くなっていても、これらの回答はシステムで自動的に省略されません。ただし、ユーザーが編集のため後でこのカスタム質問を開くと、新しい条件を満たすことが求められます。

ユーザーアカウントバッジ

ScholarOne Manuscripts の v 4.23 では、雑誌がシステム内でカスタムバッジを作成し、ユーザーアカウントに割り当てられるようにするアカウントバッジ機能が導入されます。これらのバッジは、アカウントフラグと同じように、実用的な理由をいくつかも、ユーザーアカウントでマークできます。設定および割り当てを行うと、バッジは、重要なアカウント特性のわかりやすい視覚的指標となります。バッジは、論文著者リストおよび査読検索を含め、主な場所でユーザー名の横に表示されます。また、バッジは、検索機能でユーザーを見つけるときにも役立ちます。アカウントバッジは、事前に定義された一連のフラグおよび形状には制限されません。雑誌は、独自の画像をアップロードして、アカウントバッジとして使用できます。最適な品質を得るには、各画像は 20 px × 20 px とする必要があります。異なるサイズの画像は、適合するように処理されます。

アカウントバッジは、[ログイン前および全体構成] セクションで設定します。新しいバッジを追加するには、[ファイルの選択] ボタンをクリックし、バッジにする画像を選択します。続いて、バッジの名前を指定し、[追加] をクリックします。バッジに指定した名前は、UI でユーザーがバッジをクリックしたときにも表示されます。

アカウントのバッジ				
有効	バッジアイコン	バッジ名	編集	削除
✓		Example Bage	 編集	 削除
新しいバッジの追加				
バッジアイコン:  ファイルが選択されていません。		バッジ名: <input type="text"/>	 追加	
ユーザーアカウントへ/からバッジを追加/削除できるロールを選択します。				
<input type="checkbox"/> Viewing Center <input type="checkbox"/> 副編集者 <input type="checkbox"/> 管理者				
<input checked="" type="checkbox"/> 保存				

以下に新しいバッジの設定を示します。雑誌サイトがこの機能を使用するユーザーを管理するオプションがあります。このオプションにより、雑誌は、各アカウントへ/からアカウントバッジを追加または削除可能なロールタイプを設定できます。サポート、管理者または編集者ロールタイプが設定されたロールが表示され、選択できます。

以下のフラグが付与されたユーザー

選択しない

<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 
<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 
<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 
<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 
<input type="checkbox"/> 	

バッジ:

 CONFIG_RES:Badges:5:name

1 / 1

アカウント情報 著者 履歴 査読者 履歴

chen, lei : アカウント情報

[+ リストに追加](#)

フルネーム: [博士 lei chen](#)

ユーザー ID: chenlei01

システム管理 ID: 28203941

所属1: 1231
12312
1231212312
1231231
コートジボワール

E-Mailアドレス1: chenlei@beyondsoft.com E-Mailアドレス2:

属性:

ロール: 著者, 査読者

外部リンク: 著者情報を PubMed で表示するには、[ここ](#)をクリックしてください。

アカウントフラグ 選択解除

<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 
<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 
<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 
<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 
<input type="checkbox"/> 	

バッジ  CONFIG_RES:Badges:5:name

保存